

北中だより 3月号

自主・自律・自己実現

茨木市立北中学校

北中学校がめざす生徒像

豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒

TPOについて。「TPO」というアルファベットを耳にして、あなたは何を思い浮かべるでしょうか？

「時：Time」について T・・・Time：時 P・・・Place：場所 O・・・Occasion：場合

本田宗一郎*氏は生前「時間というものは、目に見えないもので、万人に平等に与えられているから、おろそかになりがちだが、それが大間違いで、それをいかに有効に使うか、そこに成功の秘訣がある。タダのものを上手く使わないという手はないだろう。」と話をされたそうです。

私たちの日常生活は時間に始まって、時間に終わっていると思います。約束事に時間はつきもので、時間のない約束事は絶対にはないでしょう。時間の重要なことはよく承知しているはずなのに、時間の使い方となると、みんなそれほど真剣ではありませんね。それは、時間がタダで与えられているから、重要に考えなくなってしまったのだと思います。もし、この時間というものを、お金を出して買うとしたら、時間に対してみなさんはどのように考えるのでしょうか・・・。

*本田 宗一郎（ほんだ そういちろう）明治39年11月17日 - 1991年平成3年8月5日
日本の実業家、技術者。輸送用機器メーカー本田技研工業（通称：ホンダ）の創業者。



「場所：Place・場合：Occasion」について

集団におけるルールとは、一般的にはその社会の中における行動基準になるものです。英語のルールとルーラー（定規）は同じ語源からきたものです。したがって、ルールとはその社会（集団）の中の一人がある行動を取る時の基準として定められた、「約束」となります。ならば、「約束」とはどういうものなのでしょうか。

私たちは「自由」が大好きで、自由を求めます。そして、身体的にも精神的にも、窮屈に締め付けられている状態は誰もが嫌うものです。

見渡す限り広大な大地にたった一人ぼつんと投げ出される状態が完全な自由であるとすれば・・・自分の心の内面から出る欲求のみにより生きていくこととなります。

しかし、それが本当に、私たちが求める自由でしょうか。私たちは、まわりから規定されることを好む存在でもあります。それは、判断の基準であり、同時にひとりひとりの行動の根拠となり、様々な行動に影響を与えています。よって、一定の枠（価値基準）があることによって、日常生活のさまざまな事に対して、細かく心を動かしたり、考えたり、悩んだりせずに済ませられるのではないのでしょうか。

たとえば、「社会の存在する常識（社会常識）」というものがあから、結果私たちは平穏な日々を送れている。」ということがあげられます。

以上の点から、今、あなたの学校における生活を振り返ってみてください。

例えば、制服の着こなし方・言葉遣い・挨拶・ロッカー管理・持ち物・・・などなど。

人間の社会には「その場」で求められる身だしなみや振る舞いというものがあるのが確実に存在します。それは、相手に対して「失礼でないか」どうかをひとつの判断基準になります。要するに、相手・場所・場合・時間に対して自分をどう表現し行動するかが第一の判断基準になってくるのです。 **今、自分自身を振り返ってどうですか？**

